



予算組み替え

くらし応援と 地域活性化の予算に

日本共産党市議員団は、予算編成の在り方を無駄な事業を中止し、暮らしと営業を直接応援する予算組み替えを提案しました。



三宮再整備は見直しを

不必要な巨大バスターミナルは中止を

市長は、「最優先でバスターミナルが必要」と1万5000㎡ものバスターミナル整備を計画していることが明らかになりました。このような巨大なバスターミナルが本当に必要なのかという検証もされていません。この整備のため、勤労会館、三宮図書館、中央区役所、サンバルなどを移転させてしていますが、住民や利用者にはまったく知らされていません。市民の声を聴かず市長のトップダウンで進めるやり方は問題です。



政令市ワースト3位の消防職員数 震災の教訓生かして改善を



消防局審査で質疑する大かわら議員

阪神淡路大震災では、消防力の不足が被害拡大を招きました。しかし現在でも神戸市が掲げている基準さえ達成されておらず、人員は、政令市20市中18位という状況です。大かわら議員は「大規模災害への対応も求められており、消防力の強化を」と求めました。また、ケアライン119の登録で近隣協力者なしでも登録できるとの要件緩和が実現しました。これまで大かわら議員が繰り返し求めてきたものです。

皆さんと共同して実現しました

- こども医療費助成の拡充（就学前まで所得制限撤廃、一部負担も400円に）
- 小児慢性特定疾病、重度障害児、母子等医療費助成の拡充
- 保育所保育料の多子世帯軽減（国と県の施策に上乗せして実施）
- 公設学童保育の受け入れ時間を19時まで延長
- いじめ不登校対策でカウンセラーなどの充実
- こうべ学びの支援センターの相談体制の強化
- 医療的ケアを必要とする児童生徒への支援強化
- 障害者自動車燃料費助成制度の創設
- HAT神戸への小学校と特別支援学校の新設
- 神戸電鉄の利用促進パスの高速鉄道へ適用拡大（料金は1枚5,700円）
- 阪急花隈駅のバリアフリー予算化

